

教科名	理科	単位数	2 (2年間で計3)	単位
科目名	化学基礎	対象学年・科	4年全 (物理基礎との選択)	組
教科担任	佐藤 裕一			
教科書 副教材等	改訂版 新編 化学基礎 (化基320) 数研出版			

指導目標	<p>物質とその変化に関する基本的な概念や原理・法則を理解させる。そのために必要な基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るため、以下を基本方針とする。</p> <p>① 教科書の例題や練習問題を生徒が自力で解けるようにさせ、可能な限り教科書の全分野を学習させる。</p> <p>② ①の実施にあたり、理解が早い生徒に他の生徒に教えさせたり、自分の解き方を発表させたりする時間を設け、生徒の自発的な取り組みを促す。</p> <p>③ 可能な限り具体物を利用した実験（演示でも可）を実施する。</p>
------	---

		単 元	予定時数	学 習 内 容・目 標
年 間 授 業 内 容	一 学 期	第2編 物質の変化	10	第2章 酸と塩基の反応 上記項目を理解させる。
	二 学 期	第2編 物質の変化	15	第2章 酸と塩基の反応 第3章 酸化還元反応 上記項目を理解させる。
	三 学 期	第2編 物質の変化	10	第3章 酸化還元反応 上記項目を理解させる。
評価の観点 ・方法	<p>以下を基本方針とし、総合的に評価する。</p> <p>①定期考査（70%）、授業態度・出席状況・レポート等（30%）を目安とする。</p> <p>②考査の難易度は、指導目標①と同程度とし、教科書等の持ち込みは不可とする。</p>			